



2025 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 T I S株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡本 安史  
(コード番号 3626 東証プライム市場)  
問合せ先 I R・S R室長 中川 信  
(Tel. 050-1702-4115)

## 当社子会社（株式会社インテック）の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

当社は、2025 年 7 月 30 日付公表の「当社子会社（株式会社インテック）との合併に係る基本方針の決定、商号の変更及び監査等委員会設置会社への移行に関するお知らせ」のとおり、当社の完全子会社である株式会社インテック（以下「インテック」といいます。）の吸収合併（以下「本合併」といいます。）を実施することを基本方針として決定し、本合併に向けた詳細検討をはじめとして必要となる準備を進めてまいりました。そしてこの度、予定通り 2025 年 10 月 31 日開催の取締役会において、本合併を実施することについて決議し、両社間で吸収合併契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本合併は、当社及び完全子会社を対象とする組織再編（簡易合併・略式合併）であることから、開示事項・内容の一部を省略しています。

### 記

#### 1. 合併の目的

2008 年 4 月の I Tホールディングス株式会社の設立による経営統合及び 2016 年 7 月の事業持株会社体制への移行を通じて、当社及びインテックの両社はグループの中核会社としてシナジー効果の創出による顧客への提供価値拡大と企業価値向上に取り組んでまいりました。

一方、当社グループを取り巻く経営環境の変化等に鑑みると、長期経営方針「グループビジョン 2032」の早期かつ確実な実現は極めて重要であり、そのためには、当社とインテックを合併させ、これまで以上に強固な経営・事業基盤を構築することが不可欠であると判断いたしました。

本合併により、お客様や社会との価値交換性を高めるとともに、テクノロジーや先鋭人材への戦略的投資を軸とした経営資本の最適配分や中核拠点の更なる提供価値向上を強力に推進し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

#### 2. 合併の要旨

##### (1) 合併の日程

|            |               |
|------------|---------------|
| 合併基本方針決定日  | 2025年7月30日    |
| 合併契約承認取締役会 | 2025年10月31日   |
| 合併契約締結日    | 2025年10月31日   |
| 合併契約の効力発生日 | 2026年7月1日（予定） |

(注) 本合併は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併であり、インテックにおいては会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、いずれにおいても株主総会の承認を得ることなく行います。

##### (2) 合併の方式

当社を合併存続会社、インテックを合併消滅会社とする吸収合併を行います。

##### (3) 合併に係る割当ての内容

本吸収合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。

##### (4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

### 3. 本合併の当事会社の概要

|                                      | 吸収合併存続会社                                                                                                                                                                                                                                     | 吸収合併消滅会社                                        |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| (1) 名称                               | T I S株式会社                                                                                                                                                                                                                                    | 株式会社インテック                                       |
| (2) 本店所在地                            | 東京都新宿区西新宿八丁目17番1号                                                                                                                                                                                                                            | 富山県富山市牛島新町5番5号                                  |
| (3) 代表者の役職・氏名                        | 代表取締役社長 岡本 安史                                                                                                                                                                                                                                | 代表取締役社長 疋田 秀三                                   |
| (4) 事業内容                             | 情報化投資にかかわるアウトソーシングサービス、ソフトウェア開発、ソリューションサービス及びグループ会社の経営管理ならびにそれに付帯する業務                                                                                                                                                                        | ソフトウェア、システムインテグレーション、ネットワーク、アウトソーシング、ITコンサルティング |
| (5) 資本金                              | 10,001 百万円                                                                                                                                                                                                                                   | 20,830 百万円                                      |
| (6) 設立年月日                            | 2008 年 4 月 1 日                                                                                                                                                                                                                               | 1964 年 1 月 11 日                                 |
| (7) 発行済株式数                           | 236,233 千株                                                                                                                                                                                                                                   | 48,808 千株                                       |
| (8) 決算期                              | 3 月 31 日                                                                                                                                                                                                                                     | 3 月 31 日                                        |
| (9) 大株主及び持株比率<br>(2025 年 3 月 31 日現在) | <div>日本マスタートラスト信託 13.7%</div> <div>銀行株式会社 (信託口)</div> <div>いちごトラスト・ピーティ 9.9%</div> <div>ーイー・リミテッド</div> <div>株式会社日本カストディ銀行 (信託口) 5.1%</div> <div>STATE STREET BANK AND 3.3%</div> <div>TRUST COMPANY 505001</div> <div>日本生命保険相互会社 3.1%</div> | T I S株式会社 100%                                  |
| (10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績               |                                                                                                                                                                                                                                              |                                                 |
|                                      | 2025 年 3 月期 (連結)                                                                                                                                                                                                                             | 2025 年 3 月期 (単体)                                |
| 純資産                                  | 356,064 百万円                                                                                                                                                                                                                                  | 99,093 百万円                                      |
| 総資産                                  | 558,051 百万円                                                                                                                                                                                                                                  | 149,600 百万円                                     |
| 1 株当たり純資産                            | 1,477 円 61 銭                                                                                                                                                                                                                                 | 2,030 円 24 銭                                    |
| 売上高                                  | 571,687 百万円                                                                                                                                                                                                                                  | 124,765 百万円                                     |
| 営業利益                                 | 69,047 百万円                                                                                                                                                                                                                                   | 14,344 百万円                                      |
| 経常利益                                 | 70,503 百万円                                                                                                                                                                                                                                   | 15,196 百万円                                      |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益/当期純利益            | 50,012 百万円                                                                                                                                                                                                                                   | 11,865 百万円                                      |
| 1 株当たり当期純利益                          | 215 円 00 銭                                                                                                                                                                                                                                   | 243 円 10 銭                                      |

### 4. 合併後の状況

本合併後の当社の名称については「T I S I 株式会社」への変更を予定しています。詳細は2025 年 7 月 30 日付公表の「当社子会社 (株式会社インテック) との合併に係る基本方針の決定、商号の変更及び監査等委員会設置会社への移行に関するお知らせ」をご参照下さい。本合併後の当社の本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更は予定していません。

|           |                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 名称        | T I S I 株式会社 (注1)                                                     |
| 本店所在地     | 東京都新宿区西新宿八丁目17番1号                                                     |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 岡本 安史 (注2)                                                    |
| 事業内容      | 情報化投資にかかわるアウトソーシングサービス、ソフトウェア開発、ソリューションサービス及びグループ会社の経営管理ならびにそれに付帯する業務 |
| 資本金       | 10,001 百万円                                                            |
| 決算期       | 3 月 31 日                                                              |

なお、インテックの代表取締役社長である疋田秀三については、現在、当社取締役を兼任しており、合併後においても当社取締役を継続する予定です (注2)。また、本社機能については東京、富山、名古屋及び大阪に設置する予定です。

(注1) 2026 年 6 月下旬開催予定の第 18 期定時株主総会において、商号変更に必要な定款変更議案が承認されることを条件としています。

(注2) 2026 年 6 月下旬開催予定の第 18 期定時株主総会において、再任に必要な取締役選任議案が承認されることを条件としています。

## 5. 今後の見通し

本組織再編は、当社と完全子会社間の組織再編であるため、当期の連結業績に与える影響は軽微ですが、当社の事業競争力の強化等を通じて当社グループの中長期的な業績向上に寄与するものと考えています。今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想 (2025 年 10 月 31 日公表) 及び前期連結実績

|                           | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 |
|---------------------------|---------|--------|--------|---------------------|
|                           | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円                 |
| 当期連結業績予想<br>(2026 年 3 月期) | 588,000 | 75,000 | 75,000 | 50,000              |
| 前期連結実績<br>(2025 年 3 月期)   | 571,687 | 69,047 | 70,503 | 50,012              |

以 上

# TIS及びインテックの合併について

---

2025.10.31

TIS株式会社

## 「グループビジョン2032」の実現に向けて、経営資本を集結し、成長加速を強力に推進

- 2008年4月のITホールディングス株式会社の設立による経営統合及び2016年7月の事業持株会社体制への移行を通じて、TIS及びインテックの両社はグループの中核会社としてシナジー効果の創出による顧客への提供価値拡大と企業価値向上に取り組んでまいりました。
- 一方、当社グループを取り巻く経営環境の変化等に鑑みると、長期経営方針「グループビジョン2032」の早期かつ確実な実現は極めて重要であり、そのためには、TISとインテックを合併させ、これまで以上に強固な経営・事業基盤を構築することが不可欠であると判断いたしました。
- 本合併により、お客様や社会との価値交換性を高めるとともに、テクノロジーや先鋭人材への戦略的投資を軸とした経営資本の最適配分や中核拠点の更なる提供価値向上を強力に推進し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。



2026年7月1日(予定)



# TISI株式会社

代表取締役社長 岡本 安史

(本社機能:東京・富山・名古屋・大阪に設置予定)

新社名には、合併する両社の歴史を尊重した上で、コアコンピタンスであるシステムインテグレーション及びサービスインテグレーションを磨くとともに、テクノロジー & イノベーションを追求することにより、社会の変革により一層不可欠な存在となることを目指すという想いを込めています。

2024年5月に、内外環境の大きな変化を踏まえて長期目線での経営方向性をアップデートし、新グループビジョンとして設定

## 外部環境

テクノロジーの発展、SDGsの高まりを起点とした  
競争環境の不確実性の高まり

- ・ 今後10年でビジネスモデルや産業構造、社会の在り方を変えうるポテンシャルを持つテクノロジーが、次々と実用段階に入る
- ・ 社会課題解決が企業の至上命題化される中、これらテクノロジーを用いた多様なサービスが求められる
- ・ 関連して異業種含めた様々なプレイヤーと共創・競合する機会が増加

## 内部環境

中長期経営目標に対する進捗は良好  
外部環境変化を踏まえた新たな目標設定の必要性

- ・ 中期経営計画(2021-2023)目標は概ね過達
- ・ グループビジョンで目標とした戦略ドメイン比率も予定通り進捗
- ・ 様々な活動が萌芽、これらを土台に外部環境変化を踏まえた自社のポジショニングの再考と新たな目標設定が必要

現状を踏まえ、長期目線での経営方針をアップデート

Group  
**VISION**  
**2032**

社会に、多彩に、グローバルに

実現のための  
事業指針

未来への洞察力和課題解決力を備え、様々なプレイヤーの能力を統合し、  
共創を主導するポジションを確保、社会の変革に不可欠な存在へ

- ・ トップ企業との共創や市場を席捲するサービスの提供を通じて市場との対話を深め、顧客の真の課題に対する洞察力を獲得
- ・ これまで培ってきた統合力をさらに異業種連携など未来に合わせたものに拡張し、課題解決の手段を拡充、世界を舞台に社会イノベーションを起こし続ける企業グループになる

One Companyとなることによって、組織と事業の融合を加速  
経営資本の機動的な配分を通じて、新たな成長ステージへ

## 成長機会創出

顧客基盤の統合により  
ポテンシャルを  
最大限に発揮

## 収益力向上

価値ある売上の追求と  
ビジネス構造変革  
の推進

## 競争力強化

知的資産活用とR&D  
加速による持続的  
優位性の確立

# One Company

# 新会社「TISI株式会社」の概要

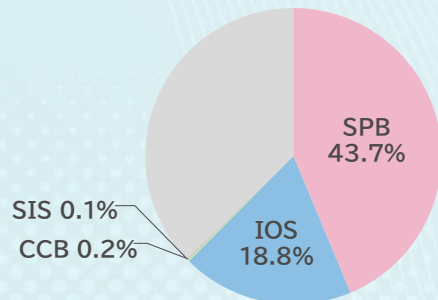
※25/3期TIS・インテック単純合算ベース



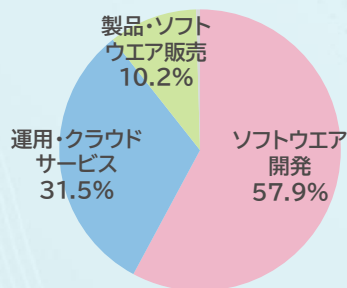
売上高 383,920百万円  
営業利益 46,271百万円  
従業員数 9,497人

売上総利益率 25.8%  
営業利益率 12.1%

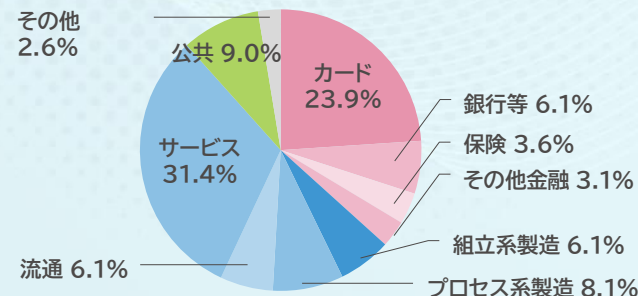
【事業ポートフォリオ】  
(戦略ドメイン比率)



【事業別売上高】



【顧客業種別売上高】



## 主なITサービス\*

安全・安心な日々の  
クレジットカード決済を支援  
**クレジットカード**  
基幹システム開発実績

**国内市場シェア**  
約50%

(取引のある顧客のクレジット  
年間取扱高ベース)

国内のキャッシュレス決済を推進  
**ブランドデビットカード**  
関連サービス提供/システム開発実績

**国内市場シェア**  
80%以上

顧客接点発のデジタルデータ活用により  
銀行ビジネス全体の推進を支援  
**「fcube(エフキューブ)」**  
関連サービス提供/システム開発実績

**53行/97行**  
(地方銀行)

企業間取引における  
業務DX(最適化・効率化)を支援  
**EDI**  
SaaS市場

**業界シェア**  
約20%

電力自由化に伴う新電力の事業に貢献  
**「エネLink」**  
導入実績 約30社50システム

**新電力**  
上位10社/30社

安定した保険制度の基盤整備に貢献  
**国保連向け**  
システム導入・運用保守提供実績

**11/47都道府県**

- これまでのTIS&インテック -  
事業移管も駆使し、両社得意領域で強みを最大限まで引き上げ



顧客基盤の厚みと現場力の相乗効果による多面的かつ強力なソリューション提供力

両社共同で開拓してきた領域(守りと深耕)  
既存収益の維持とLTV拡大

× AI ×

固有に開拓してきた領域(成長・拡張)  
新規成長軸の創出

AI活用を新会社としての企業変革のコアに据え、全社員が創造的価値を生み出す企業文化に変革

生産性向上による利益成長

技術優位性の確立

中長期的な競争力強化

One Companyとなることによって、組織と事業の融合を加速  
経営資本の機動的な配分を通じて、新たな成長ステージへ

## 1)成長機会創出

- ・顧客接点の深化  
→広域対応・大規模案件への対応力向上
- ・クロスセル促進  
→両社のソリューション×顧客基盤の組み合わせによる  
案件創出

## 2)収益力向上

- ・価値ある売上の追求  
→顧客課題解決型・提案型のビジネスモデルの高度化  
→ナレッジ集約と展開、プロダクト化
- ・ビジネス構造最適化  
→地域間・案件間連携を強めリソース配分・生産性を最適化

## 3)競争力強化

- ・知的資産の統合と活用促進  
→両社が蓄積してきた知的資産の横断的活用を進め、事業推進力と組織力を強化  
→業務とシステムの最適化を行い、オペレーショナルエクセレンスにより顧客提供価値を最大化
- ・研究開発力の強化  
→R&Dリソースの統合により、技術開発から事業適用までのスピードを加速。産官学連携や新事業創出に向けた取り組みも拡充

## 戦略顧客から更に頼られる ベストパートナーに

サービスのワンストップ化及び垂直統合を強力に推進することで、金融業界や産業分野の戦略顧客に対し、これまで以上にフルバリューチェーンでシームレスなサービスを提供し、パートナーシップの更なる深化を図る。

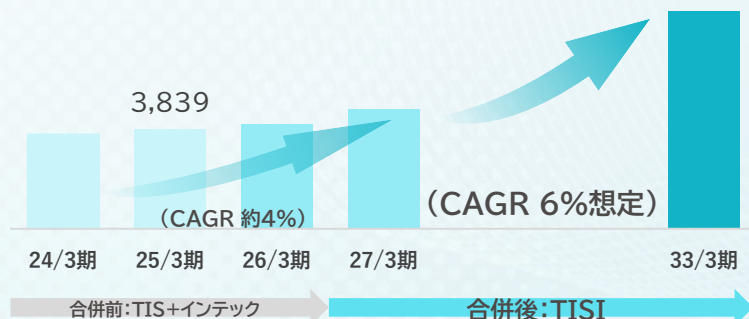
## 持続可能な未来と人々の幸せを より広範囲に実現

地方や国、企業の特性に応じて、日本の大都市や大企業の先進事例・ベストプラクティスを起点としたデジタルソリューションを、日本全国の大都市から地方、さらにはグローバルに向けて、より効果的・効率的かつスピーディーに展開。

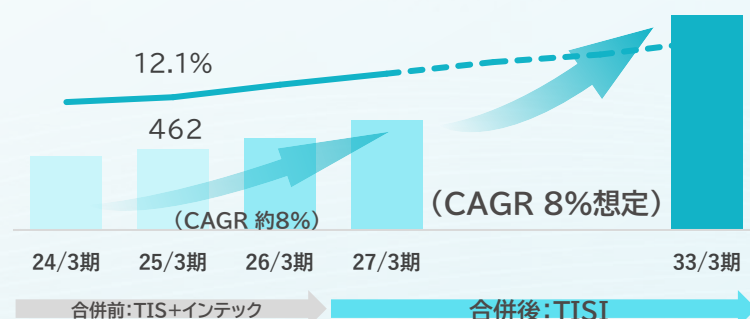
## 社会の変革に より一層不可欠な存在へ

当社グループが事業を通じて解決を目指す4つの社会課題（金融包摂、都市への集中・地方の衰退、低・脱炭素化、健康問題）に対する人材・研究・M&A等の経営資本を一体化し、自社サービスの提供やお客様・パートナーとの共創を強化することで、提供価値を最大化。

### 2033年3月期(単体) 売上高 6,000億円



### 2033年3月期(単体) 営業利益/率 900億円/15%



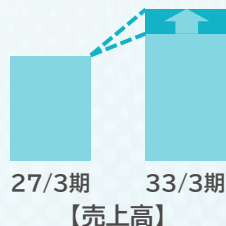
# 新会社「TISI株式会社」としての想定シナジー効果

TISインテックグループの中核会社としての単体企業規模の拡大、経営一体化による機動的な資本配分や意思決定のスピードアップなど、これまで以上に強固な経営・事業基盤を構築。

強化された経営・事業基盤の上で、お客様や社会との価値交換性を高めるとともに、テクノロジーや先鋭人材への戦略的投資を軸とした経営資本の最適配分や中核拠点の更なる提供価値向上など、中長期的なシナジー創出により更なる企業価値の向上を目指す。

## 「TISI株式会社」としてありたい姿を前提とした際の想定シナジー効果(2033年3月期単年度)

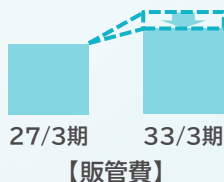
### 事業シナジー 売上高600億円超



- 顧客接点の深化やクロスセル促進による成長機会の創出
- 高付加価値領域シフトによる収益力向上
- 知的資産統合・活用促進、研究開発力強化による競争力強化

等

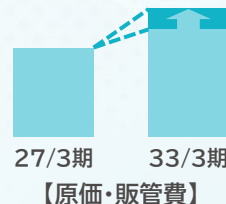
### コストシナジー 営業利益効果30億円超



- グループ全体におけるバックオフィス集約・統合
- オフィス最適化や社内システム共通化
- 間接コストの最適化

等

### 戦略投資強化 120億円増



- 中長期的な人的資本の質的強化に向けた報酬投資の加速
- 先端技術研究や新規事業開発等、研究開発への投資額増強

等

※合併関連費用は、主として26/3期～27/3期に総額20～30億円の発生を見込む。

これまでもTISインテックグループ基本理念である「OUR PHILOSOPHY」を共通の価値観として推進してきており、これを前提として持続的な成長・企業価値向上に向けた中長期での合併効果最大化を意識した融合を図る。  
次期中期経営計画開始時点で全ての統合の完了を目指す。

## 組織体制

### ・事業組織について

合併直後は両社組織を併存。2027年4月の次期中期経営計画開始に合わせて完全統合。  
業界・顧客、機能、地域を踏まえた知見と能力の集約により、課題解決力の継続的な進化を可能とする組織体制への最適化を図るべく、2026年7月より各領域毎に本格的なシナジー創出に向けた共創を開始。

### ・技術戦略組織について

2026年7月の合併時点で両社の力を結集し、制度や事業基盤を融合。将来の柱の事業創造となる提供価値と企業価値の最大化に向けテクノロジー戦略のアップデートを行う。

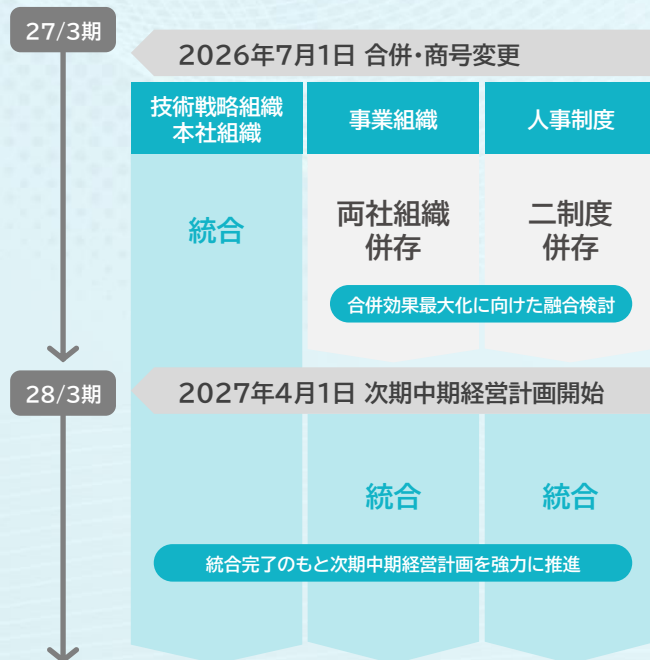
### ・本社組織について

2026年7月の合併時点で両社組織の統合を行い、グループ経営管理の高度化を加速させるべく、一体運営を推進。また、品質管理体制の集約により、これまで以上に品質管理の強化を目指す。

バックオフィス業務については、従前からの取り組みに加えて、シェアードサービスを担うグループ会社への機能集約を合併に先立って推進中。

## 人事制度

合併直後は両社の現行人事制度をそれぞれ継続。2027年4月から新会社人事制度を適用。



ITで、社会の願い叶えよう。



**TIS INTEC**  
Group